

ONAIR

[オン・エア]

2020
November

No. 131

STUDY @ HOME

今こそ、学び方改革!

特集 インターネット配信公開講座の 現状と今後

岡田 光正 副学長インタビュー	01
放送大学案内	05
▶ 放送大学6つのコース	05
▶ 科目群履修認証制度「放送大学エキスパート」	08
放送大学が採用する「デジタル認証バッジ」の可能性	
山田 恒夫 教授インタビュー	09

あこも、学び方改革!

【特集】

インターネット配信公開講座の 現状と今後

2020年5月からスタートした「インターネット配信公開講座」。
生涯学習支援番組から「キャリアアップ支援認証制度」に係る講座まで、
必要な時にいつでも始められるフレキシブルな学習法として、
さまざまな活用が期待されています。
その特性や今後の可能性について、岡田 光正 副学長に伺いました。



岡田 光正副学長

PROFILE

放送大学副学長、教養学部社会と産業コース教授。学習教育戦略研究所所長。専門は、環境化学工学、生態工学。研究分野は、上下水や廃棄物処理システム開発や自然生態系の保全・再生手法の研究をベースとした、環境政策、環境影響評価など。広く環境問題の解決、関連する法律や社会の在り方を研究。

STUDY@HOME



インターネット配信 公開講座スタートの背景

放送大学はBS放送で全国無料放送を行っています。BS231チャンネルでは、単位認定を前提としないさまざまな学びの機会を提供する番組、BS232チャンネルでは、放送大学に在籍する学生の授業科目の単位取得を目的とした授業番組を放送しています。

インターネット配信公開講座の開始は、「BS231チャンネル(以下ch)」の経緯に遡ります。BS231chは、生涯学習やリカレント教育を意識した番組を放送するチャンネルです。リカレント教育というのは、一度社会に出た人が、教育機関に戻って学び、再度新たな社会に出て行くといった「循環教育」、「学び直し」などと表現されるもので、放送大学の学生だけでなく幅広い層の人を対象にしてい

る点が特徴です。例えば、データサイエンスを勉強したい人がいるとして、今50歳だったとしましょう。すると、その人が10~20代で大学生だった頃には、まだそうした科目も学科も存在しなかったという事実があります。このように、時代の変化に応じて新たな学びを必要とする人というのは、幅広い範囲に存在するという点なのです。若いときに同じ分野を勉強していても、卒業してから10年、20年となれば、内容も随分と進化しています。そうした「学び直し」に活用できるツールとして、「BS231ch」を始めたことが、起点となります。

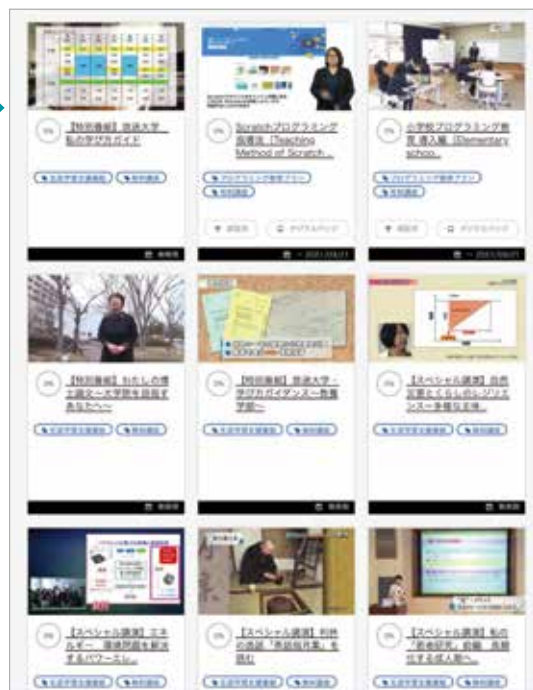
もともと放送大学の目的として「生涯学習」がテーマとしてありますが、この「BS231ch」の特徴の1つは、大学で専門的に勉強した人でなければ理解できないような高度な講座も放送されているという点です。その理由は、“放送大学は博士課程まであ

る正規の大学であり、高度なレベルの教育があつてしかるべき”という、期待を込めた思いがあるからです。学生はもちろん、企業でその分野に携わっている人、さらには専門家・研究者たちにも視聴してほしいと思っています。仮に、細かい点まで理解できなかったとしても、その学問の最先端が今どうなっているのか、または、その学問の可能性といったことがわかるような“体験”を提供しているのです。

しかし「BS231ch」ですと、テレビの視聴だけで終わってしまうという悩みもありました。つまり、せっかく多岐に渡る番組を作っているのに、もっと多くの人に見てもらわなければ“もったいない”ということです。そこで、これらをインターネットで配信しようということになり、インターネット配信公開講座が誕生しました。



トップページで「インターネット配信公開講座」をクリック



「BS231ch」の講座や企画番組を
本学のホームページより配信



学習成果をスキルにつなげる インターネット配信公開講座

インターネット配信公開講座のもう1つの大きな役割として「キャリアアップ支援認証制度」があるといえます。インターネット配信公開講座も、BS231chも、基本的に誰もが学習できるツールですが、ただ「番組を見ました」というだけでは、その人が本当に理解したか、学習したのかということがわかりません。先ほどお話したように、リカレント学習においては、学習成果の証明を必要とする人も多いわけです。

例えば、「就職や業務で必要である」など何かしらの目的があって学び直すケースもあります。きちんと勉強をした上で、確実に理解したのだという事実をもって、ある種の資格として活用するケースは今後増えていくと思います。特に、在宅時間が増えているこの時期に、自宅でコツコツと勉強をして新しい職業にチャレンジしたい、という人もいるでしょう。そうなれば、その成果を証明できる認証が

用語解説

1. デジタル認証バッジ

電子証明書のこと。各種証明書・修了証等を紙に代わって電子化し、能力・業績等の証明に利用できる。詳しくはp.9-10のトピックスで詳しく解説しておりますのでご参照ください。

2. CBT (Computer Based Testing)

コンピュータを利用した試験方式。試験結果は終了と同時に確認することができます。

3. IBT (Internet Based Testing)

場所や時間を選ばずインターネット経由で行う試験システム。



ほしいというのは当然のことです。そこで、世間で信頼できる認証を発行するにはどうしたらいいだろうかと考えました。そして導入したのが「デジタル認証バッジ」¹なのです。

今、開講している「小学校プログラミング教育導入編」や「Scratchプログラミング指導法」などは、小学校の先生達に向けた講座ですから、その先生が「小学生に教えられる知識を得ましたよ」と証明する必要があります。

インターネット配信公開講座の出題機能と連携したCBT (Computer Based Testing) ²

を会場でコンピュータを使用して実施するんです。コロナ禍の今は、会場での試験も困難ですから、不正行為を防ぐ顔認証システムや多要素認証を導入したIBT (Internet based testing) ³ など、在宅で受験できるシステムを検討しています。

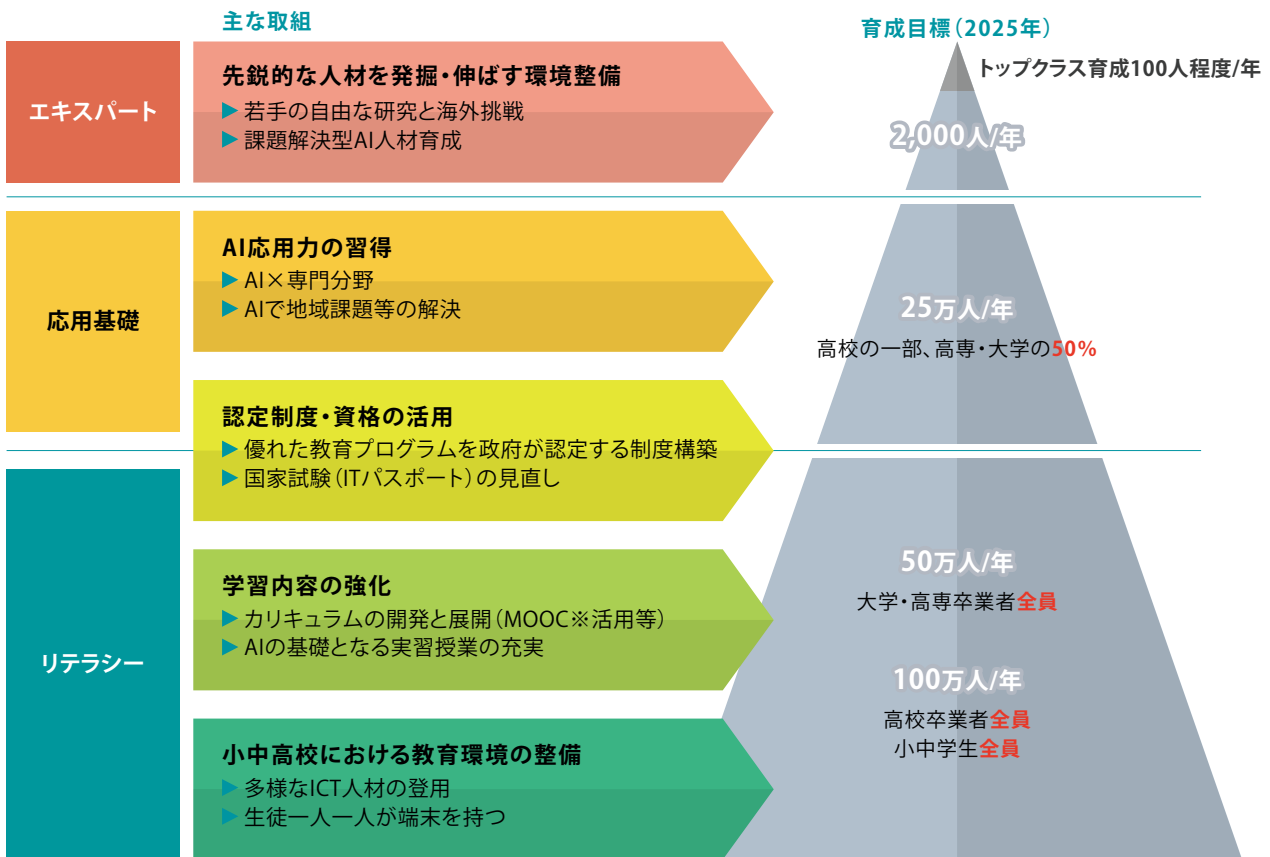
厳格な試験と専門性を重視した講義内容は、強みだと思います。学びたいという意思のある学生に向けたきちんとした学問を提供する、リカレント学習であるならば本人が望む結果を出せるようにする、そのための「インターネット配信公開講座」なんです。

動き出した次世代教育

小学校のプログラミング教育に続いて、本学が今注力しているのはデータサイエンスの分野です。昨年、政府が策定した「AI戦略2019(次頁参照)」に絡んで、未来への基盤づくりの1つとして教育改革が掲げられており、特にデジタル社会の「読み・書き・そろばん」ともいえる「数理・データサイエンス・AI」の基礎をすべての国民が育み、あらゆる分野で人材が活躍することが具体的な目標とされています。これを受けて、放送大学でも2019年度より、データサイエ



■「AI戦略2019」における教育改革に向けた主な取り組み



※MASSIVE OPEN COURSE:大規模公開オンライン講座
出典:内閣府政策統括官(科学技術・イノベーション担当)作成「AI戦略2019【概要】」より

ンスの関連番組をBS231chで開始することとなりました。政府による具体的目標は、数理、数学、理学部、工学部のみならず、人文系も含むすべての学部の学生が必ず勉強しなければならないというメッセージです。しかしながら、そうした分野を学べる学部は最近ようやくでき始めたばかりです。教員も足りない状態です。文部科学省が議論を重ね導き出した方向性によると、まずは50万人の学生に学習をしてもらう計画のようです。そして、その過程において放送大学も協力していくことになっています。

放送やインターネットという手段があれば、学習者の増加および教育レベルの向上に対して効率的ですし、放送大学は、既にその仕組みを持っているということでしょう。こうしたこと

に携われるのは大変喜ばしくもあります。現在既に本学では、データサイエンスに関するたくさんの番組を制作しており、45分の放送番組が50本近くになると思います。インターネットで公開するのなら、カメラに向かって先生が話しているだけでも成立すると思われがちですが、そこは放送大学独自のクオリティにこだわって、放送番組としてふさわしい品質を保つよう努力しています。良質な番組を提供することで繰り返し勉強したい人、デジタル認証バッジ¹が欲しい人など、あらゆる人々のニーズに応じていきたいと思っています。

広がる可能性)))

インターネット配信公開講座によっては、さまざまな可能性が広がります。

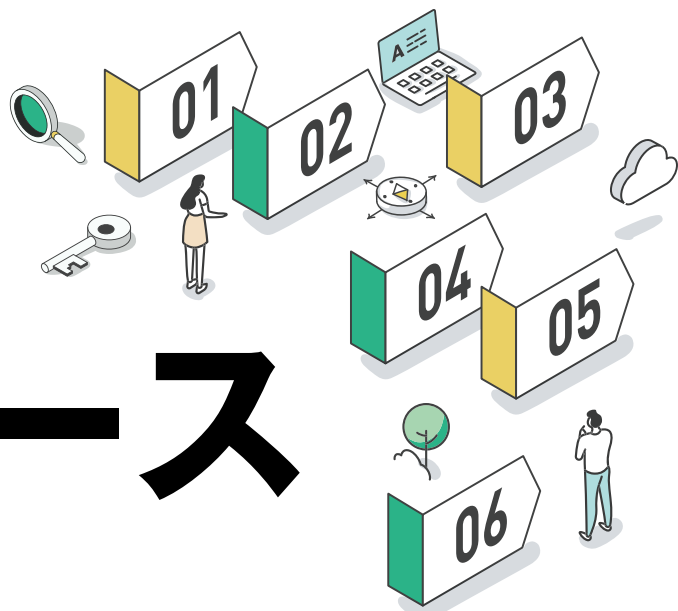
将来的には、例えば各地の自治体が主催する社会教育的な講座などにもデジタル認証を出す仕組みなどが可能となります。全国各地に、大変興味深い講座があるのですが、どうしても地域限定になりがちです。それらを全国どこからでも学べるようになったら素晴らしいと思います。例えば、本学の和歌山学習センターで開講されている「高野山学」は大変人気の面接授業ですが、そうした授業もあらゆる地域から参加できるようになります。学習センターは全国にあるので、そうした地方との連携なども進めていけたらと思います。

インターネット配信公開講座によって、学習の壁や地域の壁などのさまざまな垣根がなくなることに期待してください。



放送大学

6つのコース



まず
初めに

放送大学は、「教養学部教養学科」という1学部1学科のみの単科大学です。
目的に合わせた学生の種類を設けています。

全科履修生

大学卒業を目指し複数年在籍する。
在籍期間は最長10年（編入学等を除く）。
所定の期間在籍し所定の単位を修得する。

選科履修生

興味ある科目を短期間で学ぶ。
在学期間は1年間（2学期間）。

科目履修生

興味ある科目を短期間で学ぶ。
在学期間は半年（1学期間）。

「全科履修生」として卒業を目指し

複数年在籍する方は、コースに所属します！

※在学期間終了後は、再入学することができます。全科履修生として再入学の場合、単位が認定されます。
※その他、ある特定の期間、特定の授業科目を履修する「集中科目履修生」等があります。

選べる 6つのコース

放送大学では、豊かな教養を培いながら幅広い分野を学べ、キャリアアップ・趣味の充実・家庭や地域社会の問題解決など、実生活に即した専門的な学習を深める6つのコースを用意しています。全科履修生はその内の1コースを選択して所属します。ぜひ、あなたにぴったりのコースを見つけてください。



生活と福祉コース 全53科目

日常の衣食住に関連すること、家族、健康、福祉等、身近な事柄を対象に学び、人の生活に関わるさまざまな領域を総合的に研究し教育しています。

本コースでは、個人の生活や人生のことだけでなく、家族との関係、地域社会との関係、国際社会との関係まで含め、日常生活世界の課題から、国際共生の課題までを見通して、学際的な諸問題に取り組んでいます。

最終学年には、「卒業研究」（選択科目）で論文の執筆にもぜひチャレンジしてください。

授業科目例

食の安全（'21）

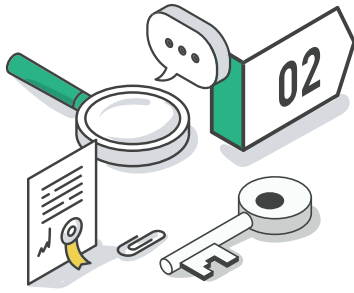
新しい食品が持つ安全性の問題、温暖化や紛争による食料自給率の問題など、食の安全性への関心が高まっています。食にまつわる問題を系統的に講義します。



感染症と生体防御（'18）

感染症の特徴を正しく理解するとともに、対処するための生体防御について、疾患との関係も踏まえながら講義を行います。





心理と教育コース 全93科目

「教育系」、「心理系」、「臨床心理系」の3つの領域から構成され、広く人間の発達に関わる問題を総合的に研究し教育しています。

人間の発達過程における、社会的・文化的条件、制度的条件、歴史的背景の研究をするのが「教育系」、発達過程における心身の機能や構造の発達変化を研究するのが「心理系」、その発達過程で生じる困難・障害・悩み等の不適応上の問題の原因や、治療・援助等を研究するのが「臨床心理系」です。

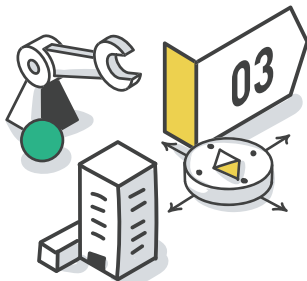
授業科目例

教育・学校心理学（'20）

学校教育との関わりで子ども達の発達の実態や教育の実際を心理学の視点から概観します。前半では主に学習指導の面を、後半では教育相談、特別支援教育など、児童生徒の支援に関わる面を取り上げます。

心理学統計法（'21）

心理学で用いる統計的手法について、基礎的な理論から、実践的な分析手法まで、実際に行うためのノウハウについて解説します。



社会と産業コース 全84科目

法律、政治、社会、経済、経営、会計、環境、デザイン、農業、工業等の幅広い領域にわたるコース。

人と人とのネットワーク、人と自然とのネットワークの基本的な性質を理解し、私たちを取り巻く制度の設計・運営・管理の基本を学び、その利点と欠点を見直すことで、災害や危機を乗り越える力を築き、ビジネス、産業、自然環境、社会環境等の現代社会の問題についての認識を深めます。

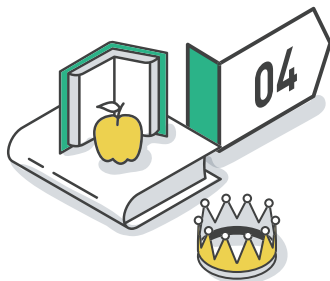
授業科目例

経済社会を考える（'19）

現代の経済社会の変化について考える科目です。人間の経済社会には、生産者の社会と、消費者の社会の二面性が存在します。これらが近代から現代にかけて、どのような変化を見せるのかを考えていきます。

市民生活と裁判（'18）

一般市民が遭遇する可能性のある代表的な紛争について、その発生から予防や解決のために必要とされる基本的な法律知識を解説。裁判の機能、裁判の基本構造、手続きの特徴等を分かりやすく解説していきます。



人間と文化コース 全63科目

哲学、美学芸術、歴史学、地域文化研究、文学、言語文化、人類学、比較文化等の分野。これらの分野のひとつひとつが重なりあった人間の文化を研究するコースです。

さまざまな視点から広くかつ深く学ぶことで、実践的な考え方を身につけることを目指します。自分や自分の周囲を発見し、人類の歴史、文化、社会を知り、真の自分を発見する学問です。

授業科目例

『方丈記』と『徒然草』（'18）

日本の古典文学の中でもよく知られ、後世の文学や美術への影響力が大きかった2作品。明晰な論理性と気韻に富む文体で、圧倒的な写実力と説得力を特徴としている両作を味読します。



アメリカの芸術と文化（'19）

大衆を巻き込んでポピュラーな展開を見せた20世紀アメリカの文芸、美術、音楽、映像の諸例に幅広くふれ、現代という時代がいかにして立ち上がり、進展してきたのかを考察します。



情報コース 全51科目

コンピューターや通信システム、ソフトウェアの仕組みや処理される情報の性質を理解して、情報や情報通信技術と人間や社会とのかかわりを学び、「情報」からさまざまな問題を解決する術を身につけることを目指します。

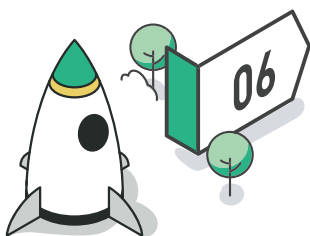
授業科目例

情報ネットワーク(18)

情報通信ネットワークを支えている基本技術や機器、インターネットの仕組み等について、また、社会のさまざまな分野で行われている情報ネットワークを利用したサービスについて学習します。

コンピュータと人間の接点(18)

コンピュータと人間の接点は、情報科学を中心にして比較的最近発達してきたものです。まず基本概念を、次いで人間についてその多様性やその設計のあり方、その社会的側面などを学びます。



自然と環境コース 全52科目

大きく分けると、「生命・生態系」「物質・エネルギー系」「宇宙・地球系」「数理系」の分野から成り立つコース。生物学、物理学、化学、天文学、地球科学、数学に加えて、エネルギー問題や生態系等の幅広い分野を学べます。初歩からの科目も多いので自然科学を初めて学ぶ人も基礎を理解し、導入科目や専門科目への深化を目指すことができます。

授業科目例

ダイナミックな地球(21)

地球科学への入門科目。地球内部から表層環境、宇宙との関係まで、さまざまな時間・空間スケールへ視点を移動させながら、進化しダイナミックに変動する地球について学びます。

暮らしに役立つバイオサイエンス(21)

人類の歴史の中で、より豊かな暮らしを求め始めた科学と考えられるバイオサイエンス。その中でも重要な微生物学。暮らしに貢献する微生物を人類はどのように利用し、どのように利用しようとしているのかを解説します。

※その他、基盤科目(外国語など)もあります。

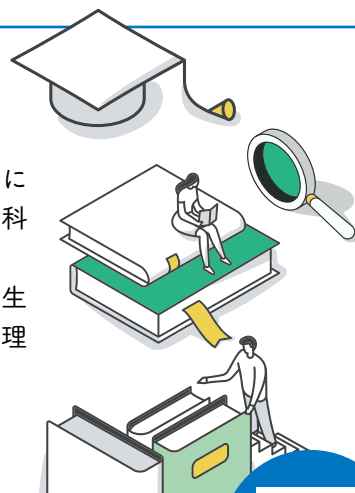
実は

大学院もあります!

学士の学位取得後、「修士の学位を取得したい」「興味のあるテーマの学びをさらに究めたい」など、それぞれの希望に合わせて学べるのが、放送大学大学院(「文化科学研究科文化科学専攻」の1研究科1専攻)。

目的や志向に合わせて、修士全科生、修士選科生、修士科目生が選べ、修士全科生は7つのプログラム(生活健康科学プログラム、人間発達科学プログラム、臨床心理学プログラム、社会経営科学プログラム、人文学プログラム、情報学プログラム、自然環境科学プログラム)があり、入学試験に合格する必要があります。

また、修士課程修了後は博士後期課程(6つのプログラム)も設けられています。



詳しくは、本学HPもしくは修士課程案内、博士後期課程案内をご覧ください。

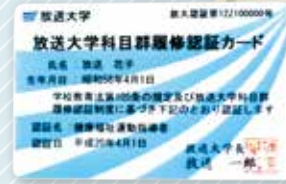
放送大学 検索
www.ouj.ac.jp



科目群履修認証制度

放送大学 エキスパート

放送大学が実施している教育プログラム（履修証明プログラム）で、学校教育法第105条「履修証明制度」*に対応しています。各プランに沿って専門分野を体系的に学び、申請することで、修了者には法に基づく認証状・証明書・証明カード等が交付されます。履歴書への記載や、博物館などボランティア活動での提示など、ご自身の活動やキャリアアップに役立ちます。



(イメージ)

※学校教育法第105条「履修証明制度」とは…
社会人などを対象とした、新しい履修・学習の証明制度。大学などが開設した、一定のまとまりある教育プログラム（履修証明プログラム）の修了者に対して、法に基づくプログラムであることを示した「履修証明書」を交付できる制度です。

専門分野を体系的に学びたい!

プランに沿って学ぶことで、まとまりのある勉強ができます。



こんな人におすすめです!

履修モデルとして参考にしたい!

どの科目を選べばいいかの道しるべになります。



勉強した証がほしい!

学校教育法に基づいた履修証明書が取得できます。



社会活動に生かしたい!

博物館などでのボランティア活動にも役立ちます。



福祉や健康から宇宙、工学まで。

幅広い分野から選べるさまざまなプラン（2021年度認証一覧）



心理学・福祉・健康

- 健康福祉指導プラン
- 食と健康アドバイザープラン
- 福祉コーディネータープラン
- 心理学基礎プラン
- 臨床心理学基礎プラン



歴史・芸術・博物館

- 芸術系博物館プラン
- 自然系博物館プラン
- 歴史系博物館プラン



マネジメント・技術

- 工学基礎プラン
- 人にやさしいメディアデザインプラン



市民・社会コミュニティー

- 市民活動支援プラン
- 社会生活企画プラン
- 地域貢献リーダー人材育成プラン
- 学校地域連携コーディネータープラン



科学・数学

- 宇宙・地球科学プラン
- 環境科学プラン
- データサイエンスプラン
- 計算機科学基礎プラン



文化・国際

- 異文化コミュニケーションプラン
- 日本の文化・社会探究プラン
- 日本文化を伝える国際ボランティア・ガイド(基礎力)養成プラン

※本制度は本学の卒業要件ではなく、必ずしも取得する必要はありません。

※各プランの対象科目など詳細はホームページや、

『科目群履修認証制度(放送大学エキスパート)について～認証取得の手引き～』を確認してください。



放送大学エキスパート

検索

www.ouj.ac.jp/hp/gakubu/expert/



インターネットで資料請求も出願もできます!



山田 恒夫教授

プロフィール

放送大学教養学部情報コース／文化科学研究科
情報学プログラム 教授。専門は、情報学、教育工
学、学習心理学。学習・学術コンテンツの開発・共
有・流通・電子出版、情報教育、Open Education
など、情報と人間・教育との関わりを広く研究。

放送大学が採用する 「デジタル認証バッジ」 の可能性



DIGITAL
CREDENTIALS

放送大学でも一部の講座で取得が
可能になった「デジタル認証バッジ」ですが、
それが一体どのようなものか、今回は、
教養学部情報コースの山田恒夫教授に、
その仕組みや可能性について
詳しく解説いただきました。

学びをデジタルで証明

デジタル認証バッジ(以下:デジ
タルバッジ)とは、「電子証明書」の
一種です。教育の分野で発行される
証明書は、卒業証明書、学位記、成
績証明書、各種のプログラムや講座
の修了証などがありますが、これらを
従来の紙ではなく、偽造が困難なデ
ジタルに置き換えた形式で発行した
ものがデジタルバッジです。こうした
証明書の偽造が欧米諸国では深刻
で、それもデジタルバッジ登場の背
景となっています。もう一つの役割と
して、その獲得や利用がモチベー
ションとなり、学習を活性化するとい
う点も挙げられると思います。デジタ
ル化により、自分の能力や資格、業
績や成績等をさまざまなソフトで可
視化したり、改ざんの有無を即座に

確認できます。また発行の手間も軽
減されるため、科目や修得スキルご
との発行も可能となり、新たな価値
の創造が期待できます。デジタル
バッジは教育機関の垣根を越えた
システムとなるため、文部科学省の
目指す「公正に個別最適化された学
び」の先を行く仕組みとなり得るで
しょう。

自分の学びは自分のもの

デジタルバッジは、まず「自分で管
理できる」という点が大きな特徴で
す。生涯学習等で複数の教育機関
を利用した場合、それぞれの機関の
デジタルバッジをもらうことになりま
すが、多くのデジタルバッジは共通
の技術標準で作られているため、ま
とめて管理することが容易です。ひと

たび受領すれば、入学試験や就職
活動などの際に、その都度発行して
もらう必要はありません。自分が保有
しているデジタルバッジを電子メー
ルで送付したり、SNS等で公開する
ことも可能です。既に、国際的に普
及しているビジネス特化型SNS
「LinkedIn(リンクトイン)」などでは、
デジタルバッジの公開が一般化し
ています。そもそも「自分の学びは自
分のもの」なので、その証明書を教育
機関で管理するより、自分で管理す
る方がより好ましいですし、そういう
意味で、リカレント教育、生涯学習と
いった学び方に適したシステムでも
あると思います。つまり、学習履歴証
明の在り方を変える、あるいは教育
の在り方、人材開発の在り方を変え
るといった変革にデジタルバッジが
大きな役割を果たすというわけです。



放送大学がリーダーシップを

日本国内では、まだ黎明期とはいえ、いくつかの事例が報道され、急速にデジタルバッジの普及が進んでいくものと見ています。既に発行、または活用している具体例を挙げますと、海外製の Learning Management System(学習管理システム)の多くは、放送大学で発行するデジタルバッジが採用している〈IMS Global〉の技術標準「Open Badge V2(OBV2)」に対応しており、

コースを修了したら、自動的に発行される仕組みが整っています。また、外資系のコンピューター関連サービス企業でも、社内の人事評価や研修システムに用いられるなど、教育機関だけでなく、さまざまな分野で運用が始まっており、これまでの学位取得を目的とした学び方から、よりカスタマイズされた高等教育が実現しつつあるように思います。放送大学でも、生涯学習の中核機関として、デジタル・トランスフォーメーションの先導機関を目指すべく、さまざまな模索が

始まったところです。放送大学の特徴である「リカレント教育への対応」「他の教育機関との単位互換」「単位ごとの授業料納付」などは、実はデジタルバッジが触媒となる新たな認証システムと相性が良いと思うのです。これを機に、学位取得を目指す教養教育遠隔大学という特色に加え、能力評価をベースにした、いわばリカレント教育におけるリーダー的存在としても認められるようになってほしいです。



デジタルバッジが交付される「放送大学キャリアアップ支援認証講座」



講座の修了者に交付される本学のデジタルバッジ



教務課

学生論文集「Open Forum 第16号」発行

刊行されて以来、反響をいただいているOpen Forum。このたび第16号を発行しました。本書は、2018年度の大学院修士課程修了生の修士論文を基にした学生論文集です。

放送大学大学院の学生たちは、どのような環境で、目標を立てて学んでいるのか？どのような形で教員の指導が行われているのか？学生の研究成果は？—— Open Forumはこのような疑問に具体的にお答えする冊子です。各学習センターで閲覧できますので、ご興味のある方、修士課程への進学をお考えの方は、ぜひ手にとってご覧ください。また、各学習センター・本部(郵送のみ)においても販売を行っています。

https://www.ouj.ac.jp/hp/gakuin/open_forum.html



通常価格
850円(税込)
本学学生価格
680円(税込)

NEW ONAIRがWebマガジンになりました。

STUDY
@ 今こそ、
学び方改革!
HOME

**URLが新しく
なりました!**

<https://webmagazine.ouj.ac.jp/>



編集後記

前号130号に続いて、コロナ禍の中でも、十分に学習にすることができることを示す誌面構成となりました。2019年度までのように、全国各地をリアルに取材し、学習センターなどの具体的な活動を紹介する手法とは異なり、「STUDY@HOME」を目指した新しいONAIRのあり方を模索しています。そこで、今回の企画としては、放送大学が、「インターネット配信公開講座」を、2020年度に立ち上げていることを皆さんに知っていただくための特集といたしました。従来の「放送授業」、「オンライン授業」、「面接授業」と

も違う、四番目の柱となりますので、一度会員登録していただく必要がありますが、この講座にも挑戦していただくことをお勧めいたします。

概要を短時間で知るためには、以下の動画でも「インターネット配信公開講座」のわかりやすい説明をしています(約16分)。あわせて、ぜひ参考してください。

放送大学YouTubeチャンネル
「放送大学キャンパスガイド 10月号①」
<https://www.youtube.com/watch?v=gNnLv-Acl1w>

(副委員長・大曾根 寛)

学内広報委員会(2020年度)

委員長	教授	石崎 克也
委員	教授	大曾根 寛
	准教授	波田野 茂幸
	教授	原田 順子
	教授	島内 裕子
	教授	伏見 清香
	教授	隈部 正博
茨城学習センター	所長	佐藤 和夫
総務部	部長	加藤 弘樹
学習センター支援室	室長	山内 克也
オブザーバー	副学長	池田 龍彦

ご意見やご感想をお聞かせください。メールアドレス koho_ka@ouj.ac.jp



編集事務担当 総務部広報課